

令和3年度事業報告書

令和3年4月 1日から

令和4年3月31日まで

学校法人 ひじり学園

1. 法人の概要

名称 学校法人 ひじり学園（昭和41年9月14日法人設立）
代表者 理事長 安達 譲
住所 豊中市新千里北町3丁目2番1号

法人理念

- 自己と他者を尊重して意欲的に生きる子どもの育成に努める。
- 子どもと共に生き、子どもと共に育ち、子どもの成長を自らの喜びとする。

設置する認定こども園

- 幼保連携型認定こども園 せんりひじり幼稚園・ひじりにじいろ保育園
豊中市新千里北町3丁目2番1号
- 幼稚園型認定こども園 ひじりひがし幼稚園
箕面市1丁目7番1号

設置する保育園

- ひじりとよかわ保育園
箕面市粟生間谷西1丁目2番1号

役員 理事 7名
監事 2名
評議員 13名
理事会 3回開催
評議員会 3回開催
職員 95名（せんりひじり幼稚園・ひじりにじいろ保育園）
31名（ひじりひがし幼稚園）
16名（ひじりとよかわ保育園）

2. 事業の概要

①せんりひじり幼稚園・ひじりにじいろ保育園

《教育方針》

一人ひとりを大切にする。力強く生きる力を育てる。人や自然との関わりの中で自己肯定感（自尊感情）や意欲を育てます

《教育内容》

恵まれた自然の中で、自分の興味関心のあることに主体的に取り組める環境を大切に。また、先生や友達と一緒に活動することの楽しさを十分に味わう。

《園児数》 5月1日時点

せんりひじり幼稚園

	3歳児		4歳児		5歳児		計	園児数計(2号)
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定員	5	125 (24)	5	150 (24)	5	160 (24)	15	435 (72)
令和元年度	5	125 (21)	5	135 (24)	5	151 (24)	15	411 (69)
令和2年度	5	125 (24)	5	137 (24)	5	140 (25)	15	402 (73)
令和3年度	5	125 (24)	5	137 (24)	5	140 (25)	15	402 (73)

ひじりにじいろ保育園

	0歳児	1歳児	2歳児	園児数計
定員	6	20	24	50
令和元年度	6	20	22	48
令和2年度	6	20	22	48
令和3年度	6	20	22	48

《職員構成》

園長	1名				
副園長	2名				
主幹保育教諭	2名				
保育教諭	59名	保育補助	5名	栄養士	2名
調理員	7名	事務員	4名	用務員	2名
体操教諭	1名	看護師	1名	育休	2名

《保育時間》

月～金曜日 午前9時～午後2時（1号）

《基本保育料》

利用者負担金 1号、2号、3号認定ごと、各市で定められた額

《入園諸経費》 入園検定料 5,000円

《特定徴収》

施設整備費	[3歳児] 年額	90,000円
	[4歳児] 年額	60,000円
	[5歳児] 年額	30,000円
教育充実費	[3歳児] 年額	10,500円（2号11,000円）
	[4歳児] 年額	8,500円（2号9,000円）
	[5歳児] 年額	7,500円（2号8,000円）

《実費徴収》

給食費	月額	5,000円（2号6,500円）
光熱費	月額	500円（2号1,000円）
行事費	[3歳児] 年額	1,250円
	[4歳児] 年額	1,250円
	[5歳児] 年額	9,380円

《一時預かり保育、延長保育》

一時預かり保育：2歳児 392人

延長保育：0歳～5歳児 1,112人

《行事实施状況》

遠足、懇談会、お泊まり保育、七夕ウィーク、運動会、みんなで作ろう DAY
 お店屋さんプロジェクト、表現発表会、ひじりカーニバル、カルタ会
 こま回し大会、めっちゃビー大会、卒園式、

《施設関係》

園地面積 6,000㎡ 運動場面積 1,800㎡

《設備関係》備品類の総点検を実施し、更新の有無を判断する。

②ひじりひがし幼稚園

《教育方針》

一人ひとりを大切にす。力強く生きる力を育てる。人や自然との関わりの中で自己肯定感（自尊感情）や意欲を育てます。

《教育内容》

異年齢の中で自分の興味関心のあることに取り組める環境を大切に、また、先生や友達と一緒に活動することの楽しさを十分に味わえるようにしています。

《保育時間》

月火木金曜日 午前9時～午後2時半 水曜日 午前9時～午前11時半
土曜日 休園

《基本保育料》

利用者負担金 1号、2号認定ごと、各市で定められた額

《入園諸経費》 入園検定料 5,000円

《特定徴収》

施設整備費

[3歳児] 年額 80,000円

[4歳児] 年額 60,000円

[5歳児] 年額 40,000円

教育充実費

[3歳児] 月額 7,500円（2号 8,000円）

[4歳児] 月額 5,500円（2号 6,000円）

[5歳児] 月額 4,500円（2号 5,000円）

《実費徴収》

給食費 月額 4,000円（2号6,000円）

光熱費 月額 500円（2号800円）

バス代 月額 3,000円（利用者のみ）

行事費 実費

《一時預かり保育、延長保育》

《行事实施状況》

遠足、ぼうけんの日、懇談会、運動会、ひりじんまつり、みんなで作ろう DAY
お店屋さんプロジェクト、表現発表会、チャレンジ登山、お泊り保育、卒園式

《施設関係》

園地面積 2,158㎡ 運動場面積 972㎡

《設備関係》

備品類の総点検を実施し、更新の有無を判断する。

《園児数》 5月1日時点 () 内は2号

	3歳児	4歳児	5歳児	クラス数計	園児数計
定員	40 (4)	40 (4)	40 (4)	4	120 (12)
令和元年度	36 (9)	35 (8)	38 (7)	4	110 (24)
令和2年度	35 (5)	36 (8)	36 (11)	4	107 (24)
令和3年度	38 (4)	36 (7)	36 (13)	4	110 (24)

※異年齢4クラス

《職員構成》

園長 1名 副園長 1名

主幹教諭	2名		
教諭	16名（兼1名）	ホームクラス担当	5名（兼1名）
栄養士	1名		
調理員	4名		
バス・園内環境	1名	バス添乗	1名
事務	2名	庶務	1名

③ひじりとよかわ保育園

《園児数》

定員 19人	0歳児		1歳児		2歳児		園児数計	
	4月	3月	4月	3月	4月	3月	4月	3月
令和元年度	3	6	8	7	6	8	17	21
令和2年度	1	4	7	7	6	8	14	19
令和3年度	1	6	4	5	7	6	12	17

《職員構成》

園長	1名		
主任保育士	2名	保育士	10名
保育補助	1名	栄養士	1名（ひがし兼任）
調理員	1名	事務	1名

3. 事業報告

せんりひじり幼稚園・ひじりにじいろ保育園

せんりひじり幼稚園では、昨年度のコロナの感染対策のための分散登園が、保育者との信頼関係を築く上で非常に効果的であったため、今年度も入園後1週間分散登園からスタートした。昨年同様の感染対策をしながら、ゼロリスクは求めず、この時期の子どもたちの大切な育ちを保障したいという園の考え方を保護者に発信し理解を求めてきた。そして行事のあり方を工夫し、学年毎に人数制限をするなど新しい形で実施することができた。お泊り保育に関しては、夏の自然探索による育ちは日帰りの遠足で補い、宿泊の経験による育ちは、年度末に園でのお泊り保育を自分たちで企画し自分たちで進めていくという幼児期の終わりの主体性が存分に発揮できる場を設けた。

3学期のオミクロン株の流行に伴い、保護者の不安な声が寄せられることが多かったため、配信システムを活用し、タイムリーに感染情報を報告。園の対応をその都度詳細に知らせてきた。このような状況下で、保護者との信頼関係の構築のための情報の発信方法やタイミング等考えさせられることが多く、ICT活用が欠かせないものになっていることを感じた。2月の表現発表会で、感染で欠席した子どもがいたクラスは、再演日を設定した。その結果、1クラスを除いてほとんどのクラスが再演の対象になった。園庭での卒園式は晴天に恵まれ、幼稚園生活の最後を飾るのにふさわしい一日となった。

昨年4回の園内研修では、毎月の子どもの育ちを理解するための会議に加えて、期案の修正をし、年齢ごとの育ちのつながりを意識していくことが挙げられ、教育課程の再編成の必要性が生じ、令和4年度の研修に繋げていくこととなった。

また、「若手育成」に関するまとめを、大私幼のオンライン研修で発表する機会をい

ただき、自分たちの育成方法を振り返るきっかけにもなった。また、保育ナビに掲載されてきた当園の「新任の育成」の記事が書籍にまとめられることとなった。26次、28次、29次プロジェクトのオンライン発表にも参加し、自園の保育の質向上にもつながった。園外の研修はオンラインが主流となったため、普段参加しにくい保育者や非常勤の保育者も、様々な研修を受けることができ、多くの学びにつながった。

職員間で Google Drive の活用が定着してきた結果、会議録の作成や情報の共有が便利になり、一層の業務スリム化に繋がってきた。その分、保育や環境や子ども理解に関しての話し合いが多くなされ、職員間で何か問題提起があると、それぞれに課題解決策を考え、そして口々に自分の考えを言い合える非常に対話的な組織になっていると感じる。

ひじりにじいろ保育園では引き続き感染対策をしながら、例年通り入園式からスタートすることができた。4月初旬にはおもちゃの研修を行い子どもたちの育ちにあったおもちゃや環境を考える機会を設けた。緊急事態宣言中にはにじいろでも1歳児1歳児クラスで職員5名、園児5名の陽性者を確認しクラスター認定を受け10日間休園をした。幸いにも感染した10名は軽症であった。

そんな中、同僚との関係性に悩む保育者が他施設へ異動し気持ちを持ち直すことができたり、なかなか経験が積みあがっていかない保育者が進退で迷い、話し合いで何度も意思を確認をしたり、保育者としてというよりは社会人としての心持ちを問い直したい場面が何度かあった。同僚と食事や会話が思うようにできなかった事や、マスクをしていて表情が読み取りにくいことはチーム保育の中でも影響があったのではないだろうか。

また、まだ感染が心配される現状だが今だからこそ自分たちができることは何かと考え、昨年度の実践を土台にしさらに親子での時間が少しでも豊かなものになるような保護者支援・家庭支援を工夫した。そして保護者同士、全家庭とのつながりを大切に考えた。また、保育理念に基づき一人ひとりの子どもを大切に、豊かな心としなやかな体に育つように努めてきた。子どもたちは保育者との信頼関係に支えられ、何より安心、そして心が安定した生活をするのが大切であると考え、日々の保育を振り返り、次の手立てへ繋げてきた。また、園内研修では目の前の子どもの姿から育ちを読みとるワークを重ね、自分たちの子ども理解への精度を上げていくためのトレーニングを継続している。今後も更なる子ども理解を積み上げていきたい。

ひじりひがし幼稚園

令和3年度も前年度同様、感染対策を行いながら新年度をスタートした。行事においては人数制限やプログラムの内容を縮小したり、給食時にはその時の感染状況に応じて一部屋で食べる人数を変えたりと感染拡大の為の工夫を行ってきたが、3学期に入りオミクロン株の流行に伴い、園児6名職員1名が感染し累計で4日間、休園の措置をとった。各家庭でコロナにおいて様々な考えを持っていらっしゃることを感じ、園としてどのように向き合い対応していくことが大事なのかを考えることが多くあった。日々、保育を振り返り、子ども理解に努めながらどのようにすれば子どもたちが主体的に生活や遊びを楽しむことができるのか保育者間で話し合いの場を持った。またかぞく懇談会などでは保護者の方が来園し、園との情報共有の機会を持ち保護者の不安を取り除くことができるよう、保護者同士の交流の場も少しずつ増やすことで、家庭での子育て疲れや孤独感を緩和できるよう努めた。

入園前の子育て支援の場として、令和 3 年度よりプレイルーム（未就園児クラス）を週 1 回から週 2 回の保育を実施した。また各学期に 1 回、座談会を行い保護者の方と子どもの育ちを喜んだり悩みを共有し合える場を設けた。週 2 回の保育や座談会を実施したことで親子共に園のことを知り、慣れてもらうことができるよう努めた。

ITC の活用により、保育の専門性を要する仕事に専念する時間の確保や情報を共有化に役立てることができ、仕事の効率化を図ることにも繋がった。

園内研修や公開保育に参加、各自が学びたい内容の講座をオンライン研修の受講など、子ども理解において育ちを読み取るワークの重ね学びを深める機会を多く持ち、保護者としての質の向上に努めた。

ひじりとよかわ保育園

とよかわ保育園は、前園長が退任され新体制の中で、引き続き感染対策をしながら例年通り入園式からスタートすることができた。令和 2 年 1 月より発生したコロナウイルス対策としては、国、大阪府、箕面市の連絡に注視しつつ、感染予防に配慮した環境の工夫、日々の健康チェックや消毒を励行した。

家庭との連携を図るにじいろノートを、6 月より紙面からキッズリーという配信機能を利用したものに変えた。保護者からは、子どもの情報がわかりやすくいつでも確認できた、行事前の取り組みの様子や子どもの姿を動画による配信は家族内で楽しむ園生活がよくわかると、好評だった。短時間勤務職員から子どもの情報の共有がしやすくなり保育に活かされたという声や事務作業の効率化につながり保育の専門性を高める時間として利用できたという声が寄せられた。

家庭支援の場として、5 月より箕面市の一時保育事業を本園でも実施した。問い合わせを含め就労以外での利用者が多く、家庭での育児に閉塞感を抱えていたり、近くに育児応援者がいないことを実感した。年間延べ人数 252 人の利用者があった。安心して預けていただけるよう、子どもや保護者の気持ちに寄り添うことを心がけ、保育園だからこそ経験できる環境や遊びを工夫するようにした。また、年齢クラスの子どもたちと合同保育をすることにより、園児や一時保育利用児にも刺激になり遊びや生活、関係づくりなど幅の広がりがみられた。

正職会議、リーダー会議を定期的実施し日々の保育の振り返りをすると共に、月 1 回の職員会議では会議の持ち方を工夫し、子ども理解を深め育ちを読み取るよう務めた。保育者として学びを深めるように、学園内の園研修会や各自が学びたい講座など積極的に参加するようにした。

4. 経営状況

人事面では採用に際して多くの応募があり、比較的早期に優秀な人材を確保することができた。新任に対しては個々の性格や特性などに即して、保育者としてのスタートを支えていきたい。また、無理なく計画的に研修を実施し資質の向上を支援していきたい。リーダーの育成についてはキャリアパスを踏まえて、各施設のミドルリーダー向けに園内研修を実施する等、ミドルリーダーの育成に注力した。また、今回の新型コロナを契機として ICT 環境の改善等により、これまで積み上げてきた様々な環境や教材、保育の可視化等に関するリソースの共有化を進めるとともに、さらなる働き方の改革に取り組み、事務負担を軽減し専門職としての仕事に注力できる職場環境の充実を図りたい。

財務面では、コロナ禍で乳児の保育を控える傾向が令和 3 年度も観られたものの結果的には教育活動収入の合計が 688,030 千円、教育活動支出の合計が 643,142 千円となり、教育活動収支差額が 44,888 千円と前年度より 1300 万円ほ

どの増加となった。コロナ禍で出生数が減少しているの、これからの本格的な少子化に対して園として対応していきたい。

人件費比率（人件費／教育活動収入計＋教育活動外収入計）は、処遇改善や特別支援を要する園児の増加による加配職員の増加や国の配置基準以上の人員配置としているが、前年度より1.9%低い66.9%となった。質の高い乳幼児教育を提供することを第一に考えながら、社会に貢献することと、持続可能な運営のバランスを考えていきたい。又、私立幼稚園団体に対して厳しい目が向けられている状況下であるので、法人のコンプライアンスを重視した経営に努めたい。

借入金の返済に関しては返済のピークを超えたが、冷暖房設備や照明器具など様々な設備や機器備品の更新や修繕時期を迎えつつあるので計画的に更新を行っていききたい。又、働き方改革の一環としてのICT化に関しては必要性や有効性を見極めながら経費の削減等にも努めていきたい。

翌年度繰越支払資金は、当年度の保持すべき資金（第4号基本金）の額を相当上回る額の支払資金を保持できているので、資金繰りに関しては問題がない。

5. 研修の状況

せんりひじり幼稚園

せんりひじり幼稚園

研修日	主催・研修会名	研修内容	講師名	参加者
4月2日	キッズ岩城園内研修	環境・玩具	岩城先生	全員
4月22日	伊丹先生特別支援園内研修	支援児の関わり	伊丹昌一先生	全員
6月	豊私幼オンライン研修	子どもの想いや姿から考える環境構成	岡部 祐輝先生	全員
6月	コロナ禍における子育て相談		菅野 信夫先生	副園長・藤原
6月25日	シンガポールオンラインシンポジウム			園長・副園長・藤原
6月29日	岡先生園内研修	年中児の育ちと関わり	岡 健先生	全員
6月30日	岡先生園内研修（ひがし）	マッピングからの気づき	岡 健先生	
7月9日	ECEQコーディネーター研修		平林 祥先生	副園長・藤原
7/19～	豊中市障害児保育研修（オンライン）	インクルーシブ保育基礎編	伊丹昌一先生	全員
7/19～	豊中子ども財団研修（オンライン）	子どもの行動を変える行動支援	平山 雄大先生	
7月29日	第35回近畿地区研修会	オンライン研修		全員
7月30日	「スタートカリキュラム」について	オンライン研修	木下 光二先生	9名
8月2日～	大私幼連盟「自然遊び」	オンライン研修	出原 大先生	20名
8月2日～	大私幼連盟「絵画」	オンライン研修	永淵奏一郎先生	14名

8月2日 ～	大私幼連盟「音楽遊び」	オンライン研修	出原 大先生	
8月20日	第12回 幼児教育実践学会	オンライン研修		全員
8月25日	若手育成者研修	事例発表（中嶋・梅木）	平林 祥先生	園長・副園長・中嶋・梅木・藤原
9月22日	29次PJ中間発表	（畑中・福岡）発表		全員
9月28日	岡先生園内研修（zoom）	PF研修 子ども理解深め方	岡 健先生	
9月29日	子どもの姿に基づく乳幼児実践を考える	ZOOM オンライン研修	北野 幸子先生	全員
10月21日	伊丹先生園内研修	支援児の関わり	伊丹昌一先生	全員
11月4日	滋賀短大付属幼稚園 ECEQ 公開保育	公開保育参加		藤原
11月9日	岡先生園内研修	3,4,5歳児の育ち発表・関わりの気づき	岡 健先生	全員
11月11日	あけぼの幼稚園 ECEQ 公開保育	あけぼの幼稚園 ECEQ		湯浅・谷邨・水上
11月16日	ファシリテーション・リーダーシップ連続講座	フォローアップ研修会	秦 賢志先生	里田
12月17日 ～	第64回大阪府私立幼稚園教育研究大会			全員
11月25日	豊中市立幼稚園連合会	給食職員交流研修会		遠藤・佐藤
11月26日	住之江幼稚園 ECEQ 公開保育	住之江幼稚園 ECEQ		米田・藤原
12月4日	豊中市立幼稚園連合会	ファシリテーション研修会	秦 賢志先生	梅木
1月11日	ECEQ で使う田の字以外のワーク	私学会館	秦 賢志先生	園長・副園長・藤原
1月22日	大教大 ECEQ 研修	オンライン		園長・副園長
1月24日	伊丹先生園内研修	支援児の関わり	伊丹昌一先生	全員
2月24日	岡先生園内研修		岡 健先生	全員
年間	ファシリテーター養成連続講座	全5回 各回4h		中嶋・谷邨・水上
年間	幼児教育アドバイザー育成研修	全9回 オンライン 毎回3h		中嶋
年間	26次プロジェクト	毎月1回		副園長
～7月	28次プロジェクト	毎月1回		藤原
年間	29次プロジェクト	毎月1回		畑中・福岡
	ECEQサブコーディネーター	あけぼの幼稚園		副園長
	ECEQサブコーディネーター	住之江幼稚園		藤原

ひじりにじいろ保育園

研修日	主催・研修会名	研修内容	講師名	参加者
4月2日	園内研修 (四施設合同)	おもちゃと遊びの研修	岩城敏行先生	全員
6月11日 ～6月13日	赤ちゃん学会	赤ちゃんは教えてくれる オンライン研修	皆川泰代先生 志村洋子先生 他	平田
6月21日 ～7月1日	豊中こども財団	子供の想いや姿から考える環 境構成	岡部祐輝先生	小野寺 平田
6月29日	園内研修		岡健先生	全員
7月6日	園内研修		岡健先生	全員
7月29日	大私立幼稚園連盟	滋賀近畿研修大会 オンライン 研修	秋田喜代美先生	全員
7月29日 ～8月10日	〃	滋賀近畿研修大会 オンライン 研修	分科会	全員
8月 ～10月22 日	免許更新	・【必修】教育の最新情報 ・【選択必修】学校を巡る近年 の状況、学習指導要領の改訂 の動向等 ・【選択】保育現場での質を高 める。 多様性を尊重した保育実践 ・【選択】保育現場での質を高 める ECEQ、学校評価、OPARK	中橋美穂先生 鈴木正敏先生 ト田真一郎先生 安達讓先生	平田
8月～10月	免許更新	・【選択】多様性を尊重した保 育実践 ・【選択】保育現場での質を高 める	ト田真一郎先生 安達讓先生	平野
9月29日	豊中子ども財団	子どもの姿に基づく乳幼児教 育実践を考える	北野幸子先生	小野寺 平田
11月9日	園内研		岡健先生	全員
11月11日	あけぼの保育園	公開保育	メインコーデ ィネータ 平林翔先生	瀬之口
12月25日	看護師交流会	感染症対策講習会・保健業務 について情報交換と意見交流		濱
12月17日 ～2月24日	大研大会	オンライン研修		全員
1月27日	看護師研修・看護 師交流会			濱
2月24日	園内研		岡健先生	全員
2月28日	大研看護師研修	子どもの健康を育み守るこれ からの就学全施設の在り方		濱

ひじりひがし幼稚園

研修日	主催・研修会名	講座	講師名	時間	参加者数
4月1日	園内研	環境について	岩城 敏之先生	1.5時間	9
4月30日	28次プロジェクト	5歳児保育の本当に大切なこと ～保護者・地域・小学校の連携の中で～	鈴木 正敏先生	2時間	1
5月7日	園内支援研修	支援児について	伊丹 昌一先生	2時間	1 2
5月18日	28次プロジェクト	5歳児保育の本当に大切なこと ～保護者・地域・小学校の連携の中で～	鈴木 正敏先生	2時間	1
6月30日	ファシリテーター研修		秦 賢志先生	4時間	1
6月30日	園内研		岡 健先生	3時間	全員
7月16日	ファシリテーター研修		秦 賢志先生	4時間	1
7月29日	28次プロジェクト	5歳児保育の本当に大切なこと ～保護者・地域・小学校の連携の中で～	鈴木 正敏先生	2時間	1
7月29日	第35回近研大会 (滋賀大会)	「新しい時代を伸びやかに生きる」～社会に開かれた質の高い幼児教育を～分科会(1～5)	秋田 喜代美先生 他6名	2.5時間	1 2
8月2日	大私幼	幼児期の子どもに適した絵画遊びの方法を学ぶ	永渕 泰一郎先生	1時間	6
8月5日	大私幼	幼児期の子どもに適した音楽遊びの方法を学ぶ	出原 大先生	1時間	6
8月20日	第12回実践学会	子どもの声を聴く実践と研究 幼児理解、記録、発信のプロセスについて	松井 剛太先生	1.5時間	7
8月20日	若手〈育成〉研修	若手保育者を育成する体制や方法	平林 祥先生	3時間	1
8月20日	若手保育者研修	子どもが主体的に遊ぶ環境構成・1学期の経験を分かち合い、振り返る	永渕 泰一郎先生 平林 祥先生	3時間	4
10月13日	ECEQ公開保育 (いまむらこどもえん)			6時間	2
10月30日	箕私幼研修	発達と愛着に課題のある子どもの理解と支援	伊丹 昌一先生	1.5時間	1 3
11月4日	ECEQ公開保育 (滋賀短大付属幼稚園)			5.5時間	1
11月10日	園内研	子ども理解	岡 健先生	3時間	1 2
11月26日	ECEQ公開保育 (住の江幼稚園)			7時間	1
11月30日	箕面市私立幼稚園 連盟	子ども主体の保育と子どもの安全～保育・用事教育におけるリスクマネジメントと組織の役割	猪熊 弘子先生	1.5時間	2

12月28日	大研大会 (オンライン研修)				13
2月25日	園内研	5期の写真から3・4・5の育ちを見る	岡 健先生	3時間	11
3月29日	人間関係トレーニング ワークショップ研修	自分を知る、他人を知る、関係性づくり	松木 正先生	6時間	3

ひじりとよかわ保育園

研修日	主催・研修会名	講座	講師名	時間	参加者数
4月2日	園内研	環境について	岩城 敏之先生	1.5時間	5
4月21日	箕面市熱中症研修	教育現場における運動や活動時の熱中症予防の対応について	岡崎 和伸先生	1.5時間	1
4月28日	29次プロジェクト	子どもの育ちを喜び合う記録の開発と検討～子どもや保護者と共有するための可視化や発信～	松井 剛太先生	2時間	1
5月19日	29次プロジェクト	子どもの育ちを喜び合う記録の開発と検討～子どもや保護者と共有するための可視化や発信～	松井 剛太先生	2時間	1
5月19日	箕面市熱中症研修	教育現場における運動や活動時の熱中症予防の対応について	岡崎 和伸先生	1.5時間	1
6月21日 ～7月5日	豊私幼研修会	子どもの想いや姿から考える環境構成	岡部 祐輝先生	1.5時間	5
6月29日	園内研		岡 健先生	8時間	3
6月30日	園内研		岡 健先生	6.5時間	12
6月30日	ファシリテーター研修		秦 賢志先生	4時間	1
7月13日	29次プロジェクト	子どもの育ちを喜び合う記録の開発と検討～子どもや保護者と共有するための可視化や発信～	松井 剛太先生	2時間	1
7月16日	ファシリテーター研修		秦 賢志先生	4時間	1
7月29日	第35回近研大会 (滋賀大会)	「新しい時代を伸びやかに生きる」～社会に開かれた質の高い幼児教育を～分科会(1～5)	秋田 喜代美先生 他6名	2.5時間	4
8月5日	29次プロジェクト	子どもの育ちを喜び合う記録の開発と検討～子どもや保護者と共有するための可視化や発信～	松井 剛太先生	2時間	1
8月20日	第12回実践学会	子どもの声を聴く実践と研究 幼児理解、記録、発信のプロセスについて (分科会含)	松井 剛太先生	3時間	2
9月20日	ファシリテーター研修		秦 賢志先生	4時間	1
9月22日	29次プロジェクト 中間発表	子どもの育ちを喜び合う記録の開発と検討～子どもや保護者と共有するための可視化や発信～	松井 剛太先生	2時間	3

9月29日	豊中市就学前施設 職員研修	人権研修	北野 幸子先生	2時間	1
10月18日	ファシリテーター研修		秦 賢志先生	4時間	1
10月27日	29次プロジェクト	子どもの育ちを喜び合う記録の開発と検討～子どもや保護者と共有するための可視化や発信～	松井 剛太先生	2時間	1
10月30日	箕私幼研修	発達と愛着に課題のある子どもの理解と支援	伊丹 昌一先生	1.5時間	2
11月4日	ECEQ公開保育 (滋賀短大付属幼稚園)			5.5時間	1
11月10日	園内研		岡 健先生	6時間	5
11月24日	29次プロジェクト	子どもの育ちを喜び合う記録の開発と検討～子どもや保護者と共有するための可視化や発信～	松井 剛太先生	2時間	1
12月7日	箕面市幼児教育センター準備室	就学前教育保育の質の向上について	大方 美香先生	1.5時間	2
12月17日～	大研大会 (オンライン研修)				5
12月22日	29次プロジェクト	子どもの育ちを喜び合う記録の開発と検討～子どもや保護者と共有するための可視化や発信～	松井 剛太先生	2時間	1
1月26日	29次プロジェクト	子どもの育ちを喜び合う記録の開発と検討～子どもや保護者と共有するための可視化や発信～	松井 剛太先生	2時間	1
2月25日	園内研		岡 健先生	5時間	3

